学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588東京都豊島区目白1丁目5番1号
電話(3986)0221内線2607
発行・編集人　伊藤　尚起
年間300円

私学逆風の中、志願者漸増

平成十年度入試　法学部　大幅定員オーバー

平成十年度の本学入試結果が発表された。「私学冬の時代」といわれる中、本学では志願者を増やしている。また、法学部において大幅に定員をオーバーし、教室で座れない学生も続出、早くも教室変更が行われている授業もある。

平成10年度 学習院大学 入試結果

学部	学科	定員	志願者	合格者	倍率	入学者
法	法	280	2711	672	4, 0	385
	政治	280	1448	511	2, 8	367
	計	560	4159	1183	3, 5	752
経済	経済	300	2334	596	3, 9	289
	経営	300	2502	485	5, 2	285
	計	600	4836	1081	4, 5	574
文	哲	95	743	176	4, 2	89
	史	90	1014	255	4, 0	83
	日文	120	853	276	3, 1	129
	英米文	130	1174	318	3, 7	124
	独文	60	371	139	2, 7	62
	仏文	100	618	227	2, 7	100
	心理	80	1711	105	16, 3	87
	計	675	6484	1496	4, 3	674
理	物理	50	393	137	2, 9	44
	化学	50	463	133	3, 5	61
	数	70	541	175	3, 1	95
	計	170	1397	445	3, 1	200
合計		2005	16876	4205	4, 0	2200

入学者には、学習院高等科・女子高等科からの進学者、補欠・推薦入学者および海外帰国・社会人・外国人等特別選抜入学者も含んでいる。

中規模の良さが評価

今年度の入試は史上最低の結果である。

二月十二日（木）から十五日（日）の日程で行われた。総志願者数は昨年度の二万六八四多から二万六八七六名と、九二名の増加が見られた。これは、八七二名が減少した昨年度入試の反動と考えられる。

法学部

学部全体では四三二名から四二五九名と一九二名の志願者減、平成八年度から三年連続の減少である。これは法学科で三二名が増加したものの、政治学科では四五名と大幅に減ら

問題となるのが、この法学部入学者の数である。両学部とも定員二八〇名のところ法学科で三八五名、政治学科で三六七名が入学し、学部全体で二九二名の定員オーバーが出た。これは法学部一年生が履修する必修の授業に支障がなければよいのだが。

経済学部

五三名の志願者増。学部全体では横ばいである。

が続けていた志願者に歯止めがかかった。学科別に見ると経済学科では五六〇名の減、経営学科では逆に六三名の増加と、激しいコンサルタントとコミュニケーションを各一クラスづつ、初等情報処理も一クラスづつ増やす」と言うが、学部全体で二〇〇名の増員を方バーする定員に至っていない現状に、憲法Ⅰ、「民法Ⅰ」などの授業では座席が不足している。そのため、より大きな教室へ変更するなどの対処もされているが、十分とはいえない。

文学部

文学部全体においては志願者は八四名の増加。昨年度は反動で志願者を減らしている。

日本文学科は昨年の七六三名から八三三名へ二〇名も伸ばした。この学科は隔年減少のはっきりした学科であり、今年も予の傾向通りになった。

ドイツ文学科は四三九名、三九五名、三七一名と、この三年間でだいに志願者を減らしてきている。

逆にフランス文学科は四九一、五七七名、六一八名と伸ばしている。

毎年、文学通り行事いの倍率を見せている心理学科は、今年さらにその数字を伸ばした。その倍率は、一九倍、二一八倍、一六、三倍と変遷している。

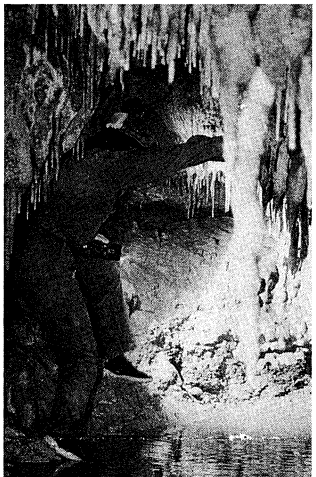
理学部

二四四九名の昨年度から、さらに減らし三九二名。

残に比べ学科での減退が激しく四分名ものの志願者を減少。

◇　◇　◇

本学全体を見れば、私大



として生き残っていけるとも過言ではない。雑誌などに、

（宮　洋輔）

平成九年度　就職結果発表される　金融敬遠みられず

就職部より、平成九年度の就職結果が発表された。

内定率は、男子九二、六％と、女子は四〇、五％となっており、全体としては六三、五％で、まだ厳しい状況まで至っての必要動はあるものの、ほぼ例年どおりの結倍率を見せている。四月一日に施行された改正外業種別にみると、本学は特に金融業に強いことが見て取れる。金融不況の強まるなかで、外資系金融の多く取れる。金融不況の強まるなかで、外資系金融の多く取れる。雇用の増加をもたらすとはいえ、激しい競争社会になるのだから、企業は学生に実力を求め始めるようになるだろう」と分析する。

また、就職協定の廃止について、「選考時期の長期化で、学生の苦労が多くなったのは事実だ。しかし、目標が重なることも減り、時間に余裕があるので、しっかりと前向きに取り組んでいる人には、チャンスなのではないか」と述べ、「大企業でも倒産する現状を考えると、これからは大手企業に就職することが必ずしも有利とはいえない時代となっている。大切なことは、本人にとって納得のいく企業に入ることだ」と語った。

なお、平成九年度の就職

ランキングは次のとおり。

〈男子〉
一位・日本電信電話（NTT）（11名）
二位・日本放送協会（9名）
三位・日立製作所（6名）
四位・さくら銀行（5名）
五位・富士銀行
・第一勧業銀行
・日本コニンス
・大蔵省（各4名）

〈女子〉
一位・東京海上火災保険（23名）
二位・金日本空輸（10名）
三位・あさひ銀行（9名）
四位・三和銀行（8名）
五位・住友信託銀行
・三菱信託銀行
・日本生命保険
・日本郵政（各7名）

人事部　本年度の人事異動

今年度の教職員人事異動が発表された。昨年は四月一日付となっている。

〈役職〉▼文学部・高橋利彦▼理学部・川路紳治▼法学部・村主重英▼経済学部・高木光▼政治学科・村主重英▼経済学科・新関文武（一月十五日付）▼文学部・堀越孝一▼数学科・藤原大輔▼スポーツ・健康科学センター所長・八木隆一▼計算機センター所長・森田道也

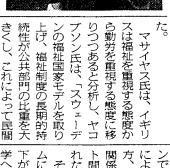
〈新任教員〉▼法学部・長谷部由起子・常岡孝好・芦原邦雄▼経済学部・岩田規久男・大澤正治▼特別客員教授▼文学部・高橋裕子・島田誠・相馬庸郎▼理学部・中島俊・▼人間科学センター・早坂信・馬渕昌也▼助教授▼法学部・磯崎典世▼農学・▼理学部・平野琢也▼外国語教育研究センター・堀内ゆかり

経済界をリードする学者の基調講演

先月十一日（土）、百周年記念会館において、学習院大学経済学部主催の国際シンポジウムが行われた。テーマは「福祉社会と市場経済」―欧米の経験と日本のこれから―。

シンポジウムは、各国の著名な経済学者が基調講演を、それぞれ対して、今野浩・前経済学部長、奥村宏・経済学部教授の質疑、全体ディスカッションという形式で行われた。

パネリストとして、ピーター・マイヤエス氏（オックスフォード大学教授）、ウルフ・ヤコブソン氏（ストックホルム経済学研究所所長）、トーマス・J・デエスターバーグ氏（米ハドソン研究所フリンジ事務所長）を招き、南部鶴彦・経済学部教授を加え、それぞれ講演をおこなった。



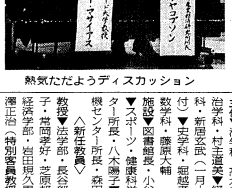
福祉の実体験を語られる皇太子殿下

マヤイヤエスは、イギリスは福祉を重視する態度から動きを重視する態度に移りつつあるとの所説し、ヤコブソン氏は、「スウェーデンの福祉国家モデルを取り続性が公共部門の比重を大きくし、これによって民間部門が脆弱になっている」と述べ、包括的改革が求められると主張した。次いで、デエスターバーグ氏が、アメリカは福祉国家の先進国であるが、優性的な福祉依存症の懸念があると述べた。

最後に南部氏が、日本の国民健保険を取り上げ、高齢化社会を迎えるにあたって、医療システムの見直し、国民皆保険の取り入れなどという、国民皆保険を改革する必要性を説いた。

続いてのディスカッションでは、高齢化社会の到来による福祉システムの在り方、福祉国家と市場経済の関係などについてパネリスト間での質疑応答が行なわれた。

その後、このシンポジウムに出席された皇太子殿下が、オックスフォード大学への留学経験に基づいて、イギリスでは福祉についておっしゃられたうえで、「思いやりと豊かなる持って、この（福祉の）問題に取り組んでいただきたい」と、学生へメッセージを



熱気だけるディスカッション

を贈られた。

最後に、フロアから、「日本は果たして福祉国家であるのか」などと、率直な質問が投げ掛けられ、四時間にわたるシンポジウムは幕を閉じた。

探検クラブ　蓮乳洞発見

二月一十日からの十七日間、本学探検クラブが日本大学などの大学探検部と合同隊を編成し、鹿児島県沖永良部島の調査をおこない、総延長二千二〇〇メートルの蓮乳洞を発見した。

隊員である本学の田中聡さん中、四日は、まだ最深部まで到達できず、今後再調査を行うことを意気込んだ。

教務課　ホームページ　今年度から開設

今年度から、教務課のホームページが開設されることとなった。同課は、「掲示情報の多数が多元化されていることから、今後は掲載情報を中心に、順次拡大していくと考えている。スピーディーな情報の提供を心がけていきたい」と言っている。

現在、掲示板に掲載されている情報は、まだまだ不足している。

講の案内などの実用的な情報は、まだまだ掲載されていない。

いっぽうで、今後は掲載情報の幅国人の話。「なんで四月の成績発表なのか」という声が聞こえてきそうだが、この話には続きがある。次の日の朝には、何事もなかったかのように、友人たちはケロッとしていたという。（梅

太平山酒蔵(3950)3293
居酒屋海賊(3954)4229
居酒屋ユンヌ(3950)6453

素朴な疑問　怪しの小屋の正体

新学期そうそう、先輩が「計算機センター前に怪しい小屋があるぞ」と言い、駆出し記者の私は、早速調査しますと言ってしまった。

記事を書くために、山小屋、学生小屋、東小屋といろいろあるが、どれも学部内にあるとは思えない。「計算機センター」と言えば、山小屋、学生小屋、東小屋といえば、山小屋、学生小屋、東小屋といえば、山小屋、学生小屋、東小屋といえ

OB・OGインタビュー　時代の波を資格で乗り切る

終身雇用、年功序列が崩壊しつつある現在、「資格」が再び注目を集めている。そこで、実際に資格を生かして働いている本学OB・OGにインタビューし、資格取得の経緯、仕事のやりがい、苦労などを聞いた。また雑誌「仕事の教室」木下雅也編集長に「学生にとっての資格」について話を聞いた。

公認会計士　渡邊芳樹さん

昭和六十一年度経済学部経済学科卒

要人守る〝サムライ〟業

年四月に独立し、赤坂一個人事務所を開いた。

監査法人とは異なり、独立後の業務内容は幅広い。税務や監査業務以外にも中小企業の様々な経営運営の問題に取り組んでいる。その他、企業に請師として招かれたり、『エコノミスト』などの経済雑誌に執筆活動を行なっている。

我々はサムライ業

「公認会計士は、警護するサムライ」と言う渡邊さん。自分自身の知識と能力だけが全ての商売だからだと。名刺一枚で企業に乗り込む。そして、企業の担当者が会計士に求めるのは、まずはセミナーの講師も担当している。

セミナーは、要人を意識したのかも、入っていたセミナーがはだかった。

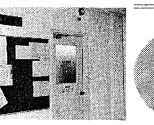
渡邊さんが、公認会計士を決意し、四年生の頃から予備校に通い、自分自身の知識と能力だけが全ての商売だからだと。名刺一枚で企業に乗り込む。そして、企業の担当者が会計士に求めるのは、まずはセミナーの講師も担当している。

セミナーは、要人を意識したのかも、入っていたセミナーがはだかった。

渡邊さん、自分自身の知識と能力だけが全ての

学生生活向上計画

もう、五月の中旬。新入生はそろそろ新生活に慣れてきた頃でしょうか。誰でも一度憧れる「一人暮らし」で頑張っている人も、いるでしょうね。インテリアはお気に入りでそろえて、友だちを呼んで…と夢でいっぱいだったけど、現実は？　そこで、一人暮らしの悩みについてアンケートを取りました！下図！。皆さんのお役に立つために、その道のスペシャリストにお話しを聞いました。学生生活をさらに向上させるヒントにどうぞ。



学生相談室は北二号館二階

家族や親友と離れて淋しい…。そんな孤独感は、一人暮らしにつきもの。そこで学生相談室のカウンセラー・高橋温子さんにお話を伺いました。

◇◇◇

一人暮らしを始めて、淋しい、つらいという気持ちを抱くことは当然と思います。でも、そういった感情を悪いものではありません。むしろ他人の心を理解し、人間として成長していくための「必修科目」なのです。

しかし、何度も言いますが、焦ってはいけません。先輩方の例でも、秋口には慣れて、一生になる実家に帰らない人も多いそう。ゆっくり自分の環境に慣れていきましょう。

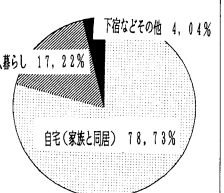
もしどうしても友達ができないとか、孤独感が募ってきたら、食欲がなくなる、眠れない、などの場合は、遠慮なく学生相談室へ相談に来てください。

友達が出来ずに悩んでいる人もいるでしょう。キャンパスで知り合った人たちに「あのー（○×部なんで）」と連絡が取りやすいですね。テストの時などに、遠慮なく学生相談室へ来てください。

友達が出来ずにそうするのも、ますます家に帰らない人を多くしてしまう。先輩方の例でも、秋口には慣れて、一生になる実家に帰らない人も多いそう。ゆっくり自分の環境に慣れていきましょう。

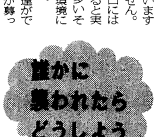
もしどうしても友達ができないとか、孤独感が募ってきたら、食欲がなくなる、眠れない、などの場合は、遠慮なく学生相談室へ相談に来てください。

本学学生・住居の形態（H8年度 学生生活アンケート調べ）



一人暮らしの悩み BEST10（本社アンケートによる）

1位	食事が面倒	79（人）
2位	出費が多い	65
3位	病気の時に頼れる人がいない	53
4位	孤独感がある	49
5位	生活のリズムがとれない	40
6位	洗濯が面倒	38
7位	宅配便の受け取りが難しい	34
8位	健康面が気になる	33
9位	浴室・脱衣が不安	31
10位	電話代がかかさむ	21



「無」に襲われたらどうしよう……と、一人暮らしの女性に付きまとう不安。まだ捕まっていない日吉通り の屋根伝い強盗事件などで、目白警察署の生活安全課の方に、その現状と注意点について伺いました。

◇◇◇

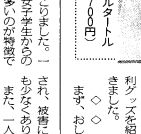
女性の一人暮らしで最も多いのは、やはり性犯罪でしょう。東京都内で平成八年、二六六八件の性犯罪が発生し、その約三割は夏に起こりました。一人暮らしの女性が狙われないために、悪党を捕まえるのが有効です。下着を部屋の中に干し、「古典的な方法ですが、父親の服を掴ませて一緒にする女性警察官が対応します。「自分は被害に遭わないから大丈夫」と思っている人が多いようですが、このような面倒は禁物です。被害に遭うことを恐れたんですが、失敗に終わりました。何故だろうと回りを見ると、そこにいる学生たちは、昭和三十年代の人間とは違う生き方をしていた。

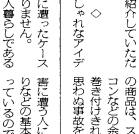
それは若者に依存せず、モノを介して人や物事を判断するのではなく、自分の生活を守り、瞬間瞬間をエンジョイする。そんな「自分サイズ」の生き方はすごく素晴しい。僕たちはそうできなかった。

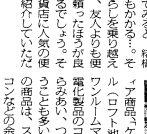
原因は「NO WAY HOME」。確かに、両親に育てられ、元気で明るいお母さんの愛情に支えられながら、「生」の意味を必死で模索している。

この本を読んだ学生生活の貴重さを改めて認識することも間違いなしだ。（樹）

（文春文庫・五五一円・八五年刊）





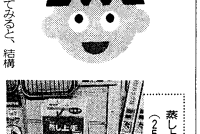


ケーブルタートル（700円）

いざやってみると、情報不使でお金もかかる…。そんな一人暮らしを乗り越えるためには、友人よりも便利グッズに頼ったほうが良い場合もあるでしょう。ここで大手百貨店に人気の便利グッズを紹介していただきました。

◇◇◇

まず、おしゃれなアイテム。ケーブルタートル（700円）。特に電化製品のコードが床でからみあい、つまずいてしまうことも多いでしょう。この商品は、スタンドやパソコンなどの余ったコードを巻き付けれいに収納し、思わぬ事故を防ぎます。素材には、耐熱ゴムを使用しているので安全。色、柄ゆで変えたりでき、簡単に蒸すことができる優れものなんです。少しの値を蒸したいときに良いのではないでしょうか。



蒸し上手（950円）

次は機能にこだわった商品です。一人分なのに大きなお弁当箱を買ってしまいたくなる。「同店・二五〇〇円」。一合のお米が蒸しやすいのが特徴。そこでおすすめの炊飯器（同店・二五〇〇円）

開幕 春季リーグ

三月下旬より、各運動部は春季リーグ戦を迎えている。中でも、プレイヤー数が六名という厳しい状況にありながら、健闘の光るバレー部女子にスポットを当てた。

バレー部女子　6人でつかんだ3勝

四月十九日から、春季関東大学バレーボール女子リーグ戦（4部）が始まった。初戦を落とした本学は、四月二十六日、立教大学にて、第一・三戦に臨んだ。

第二戦の相手は立正大学。第一セットは、高間真（二）のサービスエースで同点に追いつき、流れをつかむ。さらに、中村子里（さなえ）選手（管三）が鮮やかなフェイントを決め、逆転に成功。終盤は相手のミスも助けられただけで15－10とし、見事なストレートで勝ちとった。

第三戦は、中谷真奈美選手（英学）、第一セットは、高間真（二）のサービスエースで同点に追いつき、流れをつかむ。さらに、中村子里（さなえ）選手（管三）が鮮やかなフェイントを決め、逆転に成功。終盤は相手のミスも助けられただけで15－10とし、見事なストレートで終了。その後、本学は5勝3敗1セットとなり、五位で全試合を終了した。

第六戦は、全勝同士の対戦となった。